

2009年11月11日

各 位

(社) 漁業情報サービスセンター
(財) 東京水産振興会

第1回「食」と「漁」を考える地域シンポ
「銚子の魚イワシ・サバ・サンマの話題を追って」

晩秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、漁業情報サービスセンターと東京水産振興会では、日本の「食」を支える地域漁業の発展と魚食文化の育成のための事業の一環として、全国各地で「食」と「漁」を考える地域シンポに取り組むこととなりました。

第1回目として、連日さんまで賑わい、これからまき網船の主要水揚港となる銚子で、別紙の通り企画しましたのでご案内申し上げます。

申し込みは不要、参加は自由です。

第1回「食」と「漁」を考える地域シンポ
銚子の魚イワシ・サバ・サンマの話題を追って

共 催：（社）漁業情報サービスセンター・（財）東京水産振興会

後 援：銚子市・銚子市漁業協同組合・はさき漁業協同組合・海匠漁業協同組合

と き： 2009年12月5日（土）午後1時から4時

と ころ： 銚子市漁業協同組合 4階大会議室

（銚子市川口町2丁目6528番地、電話：0479-22-3200）

コーディネーター：・二平 章（漁業情報サービスセンター）・渥美雅也（東京水産振興会）

■プログラム■

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------|---------------|
| 挨拶： | 坂本雅信（銚子市漁業協同組合長） | 13：00 - 13：10 |
| 話題提供： | 座長・二平 章 | |
| 1. 気候変動とイワシ～レジーム・シフトとは何か？ | 川崎 健（東北大学名誉教授） | 13：10 - 13：50 |
| 2. 太平洋サンマの漁獲量およびサイズ変動は何を物語るか？ | 小林 喬（元・北海道釧路水産試験場漁業資源部長） | 13：50 - 14：30 |
| 3. マサバは今後、増えるのか？産卵場の資源動向から見えるもの | 岡部 久（神奈川県水産技術センター主任研究員） | 14：30 - 15：10 |
| 総合討論 | | 15：10 - 16：00 |

■開催趣旨■

「農」や「漁」の営みは、人々が生きていくためのかけがえのない食料を生産し、農村や漁村において自然と人間との調和的な関わり方を基本にしながら、地域文化の基礎をつくりだしてきたといえます。そして、農村や漁村での食料生産の営みの安定こそ、国の社会的安定性を維持するために重要でまた必要なものであると思われます。漁業情報サービスセンターと東京水産振興会では、日本の「食」を支える地域漁業の発展と魚食文化の育成のための事業の一環として、今年度から全国各地で「食」と「漁」を考える地域シンポを取り組むこととなりました。今回は銚子の代表魚イワシ・サバ・サンマをめぐる話題を取り上げながら、元気な水産の町づくりに取り組んでおられる地元の皆さんと意見交流します。

■問い合わせ先■

漁業情報サービスセンター（二平） 電話：03-5547-6886 E-mail：anihira@jafic.or.jp

東京水産振興会（渥美） 電話：03-3533-8111 E-mail：tkyfish@blue.ocn.ne.jp

■今後の開催予定■

第2回 1月9日（愛媛県愛南町） 、 第3回 1月11日（高知県黒潮町）